

1. 件名：泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和4年11月24日(木) 13時30分～13時40分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官※、谷主任安全  
審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、  
馬場係員、松末技術参与

北海道電力株式会社：村松原子力土木部長 他4名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

地震動審査に関する工程

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁タニです。面談を始めたいと思います今日の面談の案件としては、地震動審査に関する工程ということです。
0:00:10	この工程自体はですね今2週間に1回めにやっているプラント側との合同のスケジュールの面談等で、ざっくりとした内容は聞いてまして、
0:00:23	前回の21日なんですけれども、同じような工程が示されてましてそれとはまず変わってないですよ、同じような工程が示されてて、これは、
0:00:34	基準地震動を
0:00:36	我々としても、これは優先的に考えて、もっと早く会合できるように考えてくださいといったようなこともお伝えしたと思うんですけど今日は
0:00:47	21日に大枠を聞いてるんですけどもう少し具体的な話も、
0:00:53	聞けるのかと思いますので、まず、ちょっと工程の資料に基づいて、北海道電力から説明していただけたらと思います。
0:01:03	北海道電力の松村です。本日よろしくお願いたします。
0:01:08	今谷さんからもございました通り泊3号機の地震動に関しては、
0:01:13	10月21日の審査会合以降、検討を進めてきているところでございます。今日検討状況と、今後の
0:01:23	工程についてご説明させていただければと思いますので、よろしくお願いたします。説明がタカハシの方からさせていただきます。
0:01:31	はい。北海道電力の高橋です。それでは資料の方ご説明させていただきます。地震動審査に関する工程ということで表題振ってるものでございます。
0:01:40	まず、基準地震動の策定について、一番上に全体の工程を示してますが、先ほど田井さんからもございましたが21日の面談でお示した工程から変更ございません。
0:01:53	こちらにつきましては11月の28日の週に資料を提出しその後を説明期間を設け、1月の中の審査会合、
0:02:03	ですね、そちらを目指してご説明をさせていただきたいということで今考えてございます。その中身でございます。その下、①②と記載してございます。
0:02:13	こちら前回審査会合においてご指摘いただいた内容を大きく分けて二つございました。一つ目が断層モデルを用いた手法による基準地震動の選定理由についてということと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:24	二つ目として一関東評価用の地震動こちら延長方向になりますから、なりますけれども、そちらの設定根拠についてというところをご指摘いただいております。
0:02:34	そちらについての検討状況をご説明させていただきますが、まず一つ目のコメントについてでございます。こちら地震動の検討用地震ですね、検討用地震の地震動の特徴を
0:02:46	先週先月ですね、
0:02:49	会合後を確認してございまして、
0:02:51	それらを踏まえまして、検討用地震ごとの代表ケースを選定してございます。そちらが先週ぐらいまでで検討の方を終了してございましてそれらを踏まえまして、
0:03:03	現在基準地震動の設定について検討を進めているところでございます。こちらまとめまして来週、の資料提出まで検討を進めたいということで、今現在考えているところでございます。
0:03:16	さらに二つ目のコメントでございます。一関東評価用の地震動の鉛直方向の設定根拠についてでございます。
0:03:24	こちらにつきましては先月いっばいで検討の方を終了しまして、資料の方にはすでに反映済みということになってございます。こちらも併せて、来週提出いたします資料の方には記載させていただこうということで考えてございます。
0:03:38	そちら踏まえまして最後、超過確率の参照ということでこちらについても 21 日の会合で、赤、失礼しました面談ですね、そちらの方でお示ししてございますが、
0:03:49	基準地震動の検討を終了後資料テストとしては今、1 月の下旬ですね。
0:03:55	に資料提出を予定してございます。そちら資料提出後ご説明させていただき 3 月の月上旬、市の審査会合を目指してご説明をさせていただこうということで考えてございます。
0:04:08	資料については以上になります。
0:04:17	はい、谷です。
0:04:18	この妄想説明それだけですか。
0:04:22	わかりました。
0:04:23	衛藤。
0:04:27	こんなこと言うのもあれなんですけどもう今のタイミングとしては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:31	検討はほぼ終わってて、だから基準地震動の選定のところをまとめるような状況にあるってというようなことかと思えますけれども、
0:04:40	それであればですね、今回面談行うとも資料がまず出てきて、そこから議論し、議論と議論じゃないですねそこから確認させていただくっていうのが、
0:04:51	早いと思ひましてこの、この順番でやってるとかいうのは今となってはですね、あまり聞いても、重要な重要度情報ではないかなというふうに感じています。
0:05:03	で、ぜひちょっと聞きたいのが、21日にも言いました通り、
0:05:09	やっぱり時間が、時間的なことですね、11月の
0:05:16	28日の週に資料提出してから、
0:05:20	やっぱり会合までを、ここをいかにこう、ちょっと効率的に進めていくような
0:05:28	北海道電力としての、この体制というかですね、そういったものを何かこう考えられているのかなとかそういったことがもし聞けたらいいなというふうに、
0:05:38	あたしせっかく面談等で思ってたんですけど。
0:05:42	その取り組みとか、もちろんですねこれヒアリングしてみないと、
0:05:48	やってみるとその根拠データが十分だったかとか、そういうのがあるのかもしれないんですけども、その取り組みの中で
0:05:57	例えばちょっとした資料、資料の方修正が出てもこう、こう素早く後退せ、対応するような、
0:06:05	体制整えてますとか、そういった何かこう社内的な取り組みみたいなのは今、
0:06:11	考えられてますか。
0:06:16	と北海道電力ノジリです。これ、先週、先週金今週ですね21日の面談の時にもお話あって、地震動の方の資料提出会合はこういう時期で1月中旬ぐらいの会合ということでご説明させていただいて、一方で他の項目、
0:06:33	なんかもあって12月1月に資料出したり、議論させていただくところがあるかと思ってますんで、その中で優先順位をどうつけるかっていうところに関しましては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:43	一応社内体制として地震動に関しては津波とか火山とメンバー変わっておりますので、要は独立したメンバーでやっておりますので、そちら側に引っ張られるということはないと。
0:06:53	ということで我々としては地震動の方は、
0:06:56	当然コメントをいただいたり確認として不足してる部分があれば、素早く対応できるような体制は常にとれていると思っております。それとあとこの資料提出から審査会合の期間に関して6週入れております。これ、前回、
0:07:12	の10月21日の会合の前、資料提出からの間が6週あったということで今のところそれと同じ期間を落としているということでございます。ただ介護受けてのコメント回答っていうところにもなりますのでもしかすると少しでも我々としては、
0:07:26	早く対応して、会合の時期を早めるということも当然やっていかねばならないというかやりたいと思っておりますので、まずは一度資料の方を出させていただいた11月28の週、
0:07:38	以降のですね、ヒアリングのところを踏まえてちょっと対応をしっかりやっていきたいと思いますが大勢の方については、
0:07:45	当然コメントいただければその対応をしていくというようなことを、この件をまず地震動のラインとしては優先して対応するという体制をとっているつもりでございます。以上です。
0:08:00	はい、谷です。はい。状況はわかりました。体制の方よろしくお願います6週間というのもこれも必ずかかるっていうようなもんじゃなくて、ヒアリング等の状況次第、
0:08:11	前回の実績をそのまま入れてるっていうのについても、状況はわかりました。
0:08:16	で、我々の方としても資料提出の時期も、今回はちょっと早めに伝えていただいていることもありますので、なるべくこのタイミングにあまりこうラグがないように、
0:08:29	ヒアリングを設定したりとかですね、そのヒアリングの状況を踏まえて次の、またヒアリングは必要かどうか或いは会合に行けるかどうか、こういった判断をなるべく無駄なくやろうと思っておりますので、
0:08:42	その辺の方、進め方としては、よろしくお願いいたします。
0:08:48	私の方は、
0:08:50	コメントとしては以上ですけど、
0:09:00	規制庁の方から他ありませんか佐口さんとかもないですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:07	はいサグチです特にありません。
0:09:12	はい規制庁タニです。今日の面談の目的というか確認はできましたので規制庁側からは、確認はないんですけど北海道電力からは特にはないですか。
0:09:28	北海道電力野末です。現状のスケジュールに関しては我々しっかり努力して対応させていただきたいと思いますので、引き続きよろしくお願ひします。以上です。
0:09:38	はい規制庁タニです。それでは面談を終わりたいと思いますどうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。